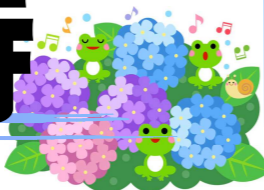


# 学校の詩

うた



学校の教育目標

## 自律貢献

文責：教頭 藤田天平

### ◆ほのぼの、和気あいあいの中で「体育発表会」を開催しました。

6月23日（水）、延期していましたが体育祭の内容、方法等を大幅に変更して、学年別の「体育発表会」を開催しました。1校時に2年生が大縄跳びと集団行動、2校時に1年生が同じく大縄跳びと集団行動を、3校時には3年生が大縄跳び、全員リレーそしてブロック応援を行いました。また、4校時には学年別での表彰式及び解団式を行いました。

体育祭の延期が決まって以降、子どもたちは目標を失いかげ、気持ちが沈んでいたとは思いますが、短い練習期間の中で、できる限りの努力をし、1時間の発表会の中で精一杯表現してくれました。特に3年生は、それぞれのクラスが団結して、真剣に競技に臨みながらも、和気あいあいと楽しんでいた姿がとても素敵でした。

3年生の表彰式で、3学年主任の南橋先生からは「体育祭が延期になってからの1ヶ月間、みんなは我慢して、粘り強く努力してきました。その姿をきくと1、2年生も見てくれたはずですよ。これからも1、2年生へ先輩としての姿を見せてほしいです。」とねぎらいと激励の言葉を贈っていました。

また、藤井校長は「皆さんの頑張りや笑顔を見て、とても幸せな気持ちになりました。絆は決して切れることのない人と人との繋がりです。コロナ禍の中でたくさんの制約やがまんがある中、僕は、私は頑張った、この仲間と過ごせて良かったと10年後、20年後に言えるようになってほしいです。前向きはすごく大切なことです。これからもきついこと、苦しいこと、嫌なことはありますが、そういう経験を重ねて人は成長するのです。そして人生の財産になるのです」と話しました。

コロナ禍の中で「できないこと」よりも「できること」を探しながら実施した「体育発表会」でした。今後も様々な行事の中で「できること」を模索し、少しでも子どもたちの成長や思い出につながるものにしていきたいと考えております。保護者の皆様には今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



### ◆中体連夏の大会が始まります。「感謝の気持ち」をもって、試合に臨みます！

緊急事態宣言発令のため延期となっていました筑紫区中体連総合体育大会が6月26日（土）から始まります。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会が中止となり、各市で「お別れ試合」を実施しましたが、今年度は無事に大会が開催されることになりました。各部の大会日程は右表の通りです。

残念ながら、筑紫区大会は感染防止のために、「無観客試合」となり、これまで支えてくださった保護者の皆様の応援がいただけない中ではありますが、きっと子どもたちは「感謝の気持ち」をもって試合に臨んでくれるものと思います。

各部がこれまでの練習の成果を発揮し、悔いの残らない試合にしてくれることを願っています。

筑紫区中体連総合体育大会					
競技名	月日	会場	競技名	月日	会場
野球	6月27日(日)	西畑球場	陸上	6月26日(土)	小郡陸上
	7月3日(土)				
ソフト	6月26日(土)	春日東中	剣道	7月3日(土)	筑山中
	6月27日(日)			7月4日(日)	
サッカー	6月26日(土)	春日公園	水泳	7月10日(土)	二日市中
	6月27日(日)				
男子バスケット	6月26日(土)	天祥中	卓球男子	6月26日(土)	太宰府市総合体育館
	6月27日(日)		卓球女子	6月27日(日)	
男子バレー	6月26日(土)	学業院中	バドミントン	7月11日(日)	那珂川市民体育館
	6月27日(日)				
女子バレー	6月26日(土)	春日中	吹奏楽	7月27日(火)	福岡サンパレス
	6月27日(日)				

※上記の大会・コンクールの結果でその後の日程・会場が決まります  
※硬式テニスは筑前大会から始まります

## 「虫の目 鳥の目 魚の目」

【教頭コラム】

### 「中体連に向けて」

「やると決めたからには後悔のない準備をしたい」

ソフトボール 上野由岐子



ソフトボール日本代表が金メダルを獲得した2008年の北京オリンピック。その歓喜の輪の中心にいたエース上野由岐子は2021年7月、39歳になる。3月23日に行われた日本代表に内定したメンバーの会見でこう話した。

「正直もう一度、オリンピックの舞台に立つと思っていたいなかったというのが正直な気持ちです。月日がたっているのに、あの時みたいなピッチングはできない。でもやると決めたからには、しっかりと後悔のない準備をしたいと思っていますし、今出せる自分のパフォーマンスでオリンピックを迎えたい」

年齢を重ね体力の衰えもあるだろうが、3大会ぶりに復活した東京オリンピックでも上野が絶対的な存在であることは変わらない。自国開催となる3回目の大舞台。ソフトボールは、2021年で10年となった東日本大震災の被災地 福島が試合会場になっていて、日本代表は最初の2試合を戦う。

「何のためにオリンピックが福島で行われるかということ、しっかり心にとめて、自分たちがどういうパフォーマンスをして、何を伝えられるのか。試合の白黒だけでなく、いろいろなものを福島に伝えられるかという、すごく大事な使命を受けている」

東京オリンピック開催に賛否があるのは、上野自身よくわかっている。それでも、勝ち負けだけではないスポーツの力を信じている。

「ただただオリンピックをやってよかったなと、全国民にそうしてもらえよう試合にしたい。やっぱりスポーツの力というのを見てくれる皆さんの人たちに伝えたい」  
「NHK for School アスリート×言葉」より

北京オリンピックの後、上野選手は「最後は気持ちが強い人間が勝ちを取ることができるんだなって、つくづく実感しました」と言っています。上野選手は中学時代に「五輪で金メダルを取る」という夢を抱いたそうです。

「その夢の実現のために苦しいこともたくさんあったけれども、あきらめなかったから届いた。努力は人を裏切らない。クラス対抗の試合のメンバーになりたいとか、自分が立てた目標に向かって頑張り続ければ、結果はついてくる。夢は必ずかなう。それが私がソフトボールから教わった事です」と述べています。とても重い言葉、実感のある言葉だと思います。

中体連大会を間近に控え、緊張が高まってきている人、ワクワクして待ち望んでいる人、様々なだと思います。いずれにしても、これまで努力してきた自分と仲間を信じて、そして「後悔のない準備」をし、最高の結果を信じて大会に臨んでほしいと思います。最後は「気持ち」なのです。御陵中生のキラキラと活躍する姿を期待しています。

### ◆お知らせ

7月には3年生進路説明会（2日）、2年生修学旅行説明会（7日）1年生自然教室説明会（14日）が予定されております。

感染症対策を行った上で実施しますので、保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、ご来校に際しては、マスク着用の上、受付にて健康確認票のご提出をお願いします。

※今後の感染症拡大状況によっては、変更となる場合があります。

